

## 教員養成に係わる目標及び取組

---

### 教育学部

#### ■教員養成の目標及び当該目標

教育学部は、教育者としての総合的な資質能力及び教育実践力を育成することを大きな目標に掲げている。特に、学校教育教員養成課程にあつては、豊かな人間性と教職への強い使命感を持つとともに、社会の変化やニーズを適切に踏まえ、学校教育が抱えるさまざまな現代的教育課題に協働して対処することのできる、専門的知識と実践的指導力を備えた教員を養成（計画養成）することを目的としている。専門的な知識や技能の習得を踏まえ、教育実践に生かす方法の習得を重視するため、教職及び教科の学習を深めるとともに、教育実践に関する学習（教材研究・授業研究・教育実習体験など）を重視している。

#### ◆学校教育教員養成課程

豊かな人間性と教職への強い使命感をもつとともに、社会の変化やニーズを適切に踏まえ、学校教育が抱える様々な現代的教育課題に協働して対処することのできる、専門的知識と実践的指導力を備えた教員を養成する。

##### （１）幼児教育コース

幼児教育コースは、乳幼児の健全な成長にふさわしい豊かな保育環境を創ることのできる教員を養成する実践的・総合的なカリキュラムからなる。人間の生涯にわたる発達と教育についての幅広い知識を背景にして、乳幼児の心理や発達、幼児教育の目標や内容、保育計画や制度、歴史などを総合的に学ぶ。さらに、乳幼児に接しながら実践的な体験を積み重ね、家庭・地域における子育て支援能力をもった人材を養成する。

##### （２）小学校教育コース

子どもの発達と発達障害ならびに人間の生涯発達に関わる理解を基盤とした支援ができるとともに、教科教育や学級経営にも強い優れた小学校教員を養成するコースである。教育課題を探究することを目指した教育課題探究分野「教育領域」、「心理領域」、「生活・総合領域」と、特別支援教育に重きをおく特別支援教育分野「特別支援教育領域」、教科に関する専門的知識を養う教科教育分野「国語領域」、「社会領域」、「数学領域」、「理科領域」、「音楽領域」、「美術領域」、「保健体育領域」、「技術領域」、「家庭領域」、「英語領域」がある。

##### （３）中学校教育コース

中学校教育コースは、確かな教科指導力をもつとともに、小学校教育との関連で中学校教育のあり方を理解し、子ども発達と発達障害ならびに人間の生涯発達に関わる理解を基盤とした支援ができる中学校教員を養成するコースである。そのために、中学校教諭1種免許状の取得に加え、小学校教諭2種免許状あるいは特別支援学校教諭2種免許状の取得を卒業要件としている。中学校教育コースには、「国語領域」、「社会領域」、「数学領域」、「理科領域」、「音楽領域」、「美術領域」、「保健体育領域」、「技術領域」、「家庭領域」、「英語領域」の10領域をおき、各教科の専門的力量的養成を図る。

## 教員養成に係わる目標及び取組

---

### ◆人間発達環境課程

以下の2つのコースにおいて、教員養成を行っている。

#### (1) 人間環境コース

本コースでは、人と人を取り巻く環境（自然・社会・芸術・歴史）との関わりを、生涯学習という観点から研究し、人と人、人と自然が共生する社会システムの実現を目指して、豊かな教育環境をデザインできる人材を養成することを目標にしている。そのなかで、中学校（社会）（理科）・高等学校（地理歴史）（公民）（理科）の教員免許取得を望む学生に対し、本課程の目標に合致させながら、教員として求められる総合的な資質・能力及び教育実践力の育成を目指している。

教科に関する専門的知識や技能の修得、さらにそれを教育実践において生かす方法を重視し教科内容の学習を深めるとともに、教育実践に関する学習（教材研究・授業研究・教育実践体験等）を総合することにより、教科に関する研究能力と実践的指導力の養成を行っている。

#### (2) 国際理解教育コース

本コースでは、多文化共生に関わるさまざまな課題を国際理解という観点から研究し、国際理解を深めるための実践的教育を行う能力を持った人材を養成することを目標にしている。多文化社会と教育に関する科目、日本語文化と日本語教育に関する科目、英語圏文化と英語コミュニケーションに関する科目を開設し、国際理解を深めるための実践教育を行う能力を持った人材を養成している。人間の生涯にわたる発達と人間を取り巻く環境に関する問題を総合的に探求し、国際化、情報化、少子・高齢化の進む生涯学習社会を支える人材を育成することの一側面として、中学校・高等学校教員に求められる総合的な資質・能力及び教育実践力の育成を目指している。教科に関する専門的な知識や技能の習得を踏まえ、教育実践に生かす方法の習得を重視するため、教科内容の学習を深めるとともに、教育実践に関する学習（教材研究・授業研究・教育実習体験など）を重視している。また、多文化社会について学習し、かつ日本語という言語を客観的に学習し、異言語である英語との差異を客観化できる、教員養成課程の学生とは違う英語教員の養成を目指している。

## 教員養成に係わる目標及び取組

---

### 教育学研究科

#### ■教員養成の目標及び当該目標

学部段階における専門教育を基礎として、教育並びに教科の基礎となる専門諸学芸に関する精深な専門的知識・技能を修得させ、さらに、学校現場との結びつきを教科することによって、高度な専門性と実践的指導力を有する教員を育成します。また、教育の諸分野において指導的役割を担い、地域文化の向上に寄与できる人材を養成します。

#### ○学校教育専攻

教育学、心理学、幼児教育の三つの分野から成り立っており、混迷する学校教育を理解し、子ども一人ひとりとのつながりを築き、子どもの成長を支援するために、教育学や心理学を学び、新たな教育実践力を育成する。

#### ○特別支援教育専攻

特別支援教育と特別支援教育コーディネーター（1年制）の2つの専修から成り立っている。障害児教育学、障害児心理学、障害児病理学等に関する教育、研究を基礎に捉えて、特別支援教育を支える高度で総合的な研究能力を育成する。

#### ○教科教育専攻

国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術教育、家政教育、英語教育の10専修からなりたっている。授業を行うために、どのような知識が必要であるか、どのようにしたら授業やカリキュラムを改善できるか等、問題意識を共有しながら、教科に関する実践的指導力の向上を図り、学校教育の進展に寄与する指導的教員を育成する。

#### ○学校臨床心理専攻

臨床心理学と学校臨床実践学の二つのコースからなりたっている。心に関わる様々な課題（いじめ、不登校、児童虐待等）などへの支援ができる能力だけでなく、実践の場において課題を把握し、柔軟に対応できる人材を育成する。

#### ■教員の養成に係わる教育の質の向上に係る取組

- ・教育実践総合研究コースを設けて、教育学研究科、香川県教育委員会、公立協力校及び附属学校園との連携協力のもとに、教育実践学の向上をめざす。
- ・特別支援室「すばる」において、実践と研究を行う。
- ・心理診療相談室において心の悩みや心理的問題を抱えている方に対して、専門的支援（外来相談）を行い、心理臨床の実践力を身につける。

# 教員養成に係わる目標及び取組

---

## 法学部

### ■教員養成の目標及び当該目標

法学部は、「正義、人種、自由、平等といった基本理念、政治制度や法制度への理解、制度の実態や政策課程に関する理解」を備えた「公共的市民」の育成を教育理念・目標の一つに掲げており、こうした理念・目標のもと、全学の「創造的で人間性豊かな」「地域社会に貢献できる専門職業人の養成」という教育理念・目標と相まって、「社会」ないしは「公民」の教員を養成する事業に参画している。

各段階における到達目標は以下のとおり。

#### 【1年次】

前期： 教科に関する科目として法学および政治学の入門科目を履修し、法学的、政治学的思考方法の基礎を理解する。あわせて、体育、情報およびコミュニケーション関連科目を履修し、身体および意思疎通の基礎的能力を身につける。

後期： 引き続き、教科に関する科目を履修し、上記の諸入門科目と関連する諸科目を履修し、法学的、政治学的思考方法の理解をいっそう深める。あわせてコミュニケーション関連科目を履修し、意思疎通能力をいっそう高める。

#### 【2年次】

前期： 教職の意義に関する科目、および教育の基礎理論に関する科目を中心に履修し、教職の意義、教員の役割・職務内容、教育の理念・歴史、生徒の心理的発達および学習過程などについて理解する。あわせて、体育および憲法と関連する科目を履修し、身体能力を高めるとともに、人権意識を身につける。

なお、中一種免（社会）課程においては、介護等の実体験を通じて社会奉仕の意義を理解する。

後期： 教育の基礎理論に関する科目に加えて、教育課程および指導法に関する科目を履修し、教育に関する社会的・制度的事項、教育課程の意義および編成方法、教育の方法と技術などを理解する。

#### 【3年次】

前期： 教育課程および指導法に関する科目に加えて、生徒指導、教育相談、進路指導に関する科目を履修し、公民（中一種免（社会）課程においては社会科及び道徳）の指導方法ならびに教育相談の理論と方法を理解する。

後期： 教育課程および指導法に関する科目に加えて、生徒指導、教育相談、進路指導に関する科目を引き続き履修し、公民（中一種免（社会）課程においては社会科）の指導方法ならびに生徒指導・進路指導の理論と方法を理解する。

## 教員養成に係わる目標及び取組

---

### 【4年次】

前期： 教育実習に関連する諸科目を履修し、教育実習および事前・事後の実践演習を行う。

後期： 一連の教科に関する科目および教職に関する科目を履修し、教育実習を行った者について、教職全般に関する総括的理解および実践的能力を養う。

### ■教員の養成に係わる教育の質の向上に係る取組

特に無し

## 教員養成に係わる目標及び取組

---

### 法学研究科

#### ■教員養成の目標及び当該目標

法学研究科は、高度の専門知識と研究能力、その成果を実践的に応用できる力を持ち、グローバルマインドを備えつつ、高い倫理観と責任感をもって社会の発展に寄与できる高度専門職業人の育成を目標としている。

本研究科は、こうした能力と素養を備えた、高等学校における教育研究の中核を担うことができる人材を養成することを目的としている。

教職課程履修者は本研究科が開設している教科に関する科目のうちから最低24単位を修得する。

#### ■教員の養成に係わる教育の質の向上に係る取組

特に無し

## 教員養成に係わる目標及び取組

---

### 経済学部

#### ■教員養成の目標及び当該目標

経済学部経済学科においては、国際化・情報化・市場化の進展に伴い複雑多様化する現代経済を理論的・実証的・数量的に解明し、直面する諸課題に対して、国際的視野と科学的視点から、実行可能な政策を提言できる人材育成を目標としている。これらの資質を兼ね備えた人材を教育の世界においても活躍してもらうべく、高校一種商業の免許を認可し、教員養成を行っている。

経済学部経営システム学科においては、経営のグローバル化、技術革新、IT化の進展、規制緩和、自然環境との共生等、企業を取り巻く環境の急速な変化を踏まえて、企業経営に求められる知的能力を身につけた人材を育成し、現在の知識社会に様々な貢献のできる人材を育てることを目標としている。これらの資質を兼ね備えた人材を教育の世界においても活躍してもらうべく、高校一種商業の免許を認可し、教員養成を行っている。

経済学部地域社会システム学科では、外国語の修得と並行して、自国をはじめとした世界各地域の社会・文化・歴史を総合的に学習することを通じて、社会に対する深い理解力と分析力を備え、広く国内外のビジネスシーンで活躍できる人材育成を目標としている。これらの資質を兼ね備えた人材を教育の世界においても活躍してもらうべく、中学校一種社会、高校一種地理歴史、高校一種公民の免許を認可し、教員養成を行っている。教職を希望する学生には、2年次から年度当初にガイダンスを行い、教職を取り巻く現状や単位修得上の注意点を説明し、学生の教職に対する意思の確認を行っている。その後は、学部の専門的科目や教育学部で開講される教職に必要な科目の単位修得を目指していく。

#### ■教員の養成に係わる教育の質の向上に係る取組

教科の指導法に関する「商業教育法」、「商業授業研究」では、元商業高校教員を非常勤講師としてむかえ、実践的な講義を行っている。

「商業」免許希望学生は、教育実習を、母校ではない地元の商業高校で行い、また、「社会」「地歴」「公民」免許希望学生は、主に教育学部附属中学校で行っており、厳正な指導を受けている。

## 教員養成に係わる目標及び取組

---

### 経済学研究科

#### ■教員養成の目標及び当該目標

経済学研究科は、経済学領域の講義を中核に、それに経営学及び人文諸科学領域の講義を有機的に結合させることで、高度で実践的な専門的知識と論理的思考に裏付けられた分析力と判断力を備え、現代社会の複雑な諸問題に対して対処できる高度な専門的能力を持った人材の養成を目指している。

専修免許取得の資格を有する学生には、免許取得の意思確認を行い、希望者には履修指導を行うことにしている。

#### ■教員の養成に係わる教育の質の向上に係る取組

経済学研究科は、大学院における各自の専門的研究の基盤となるよう、経済学及び経営学領域に関連する選択必修科目として基幹科目を設けており、そのうえで、経済学や経営学を専門とする教員の下で、指導を受けられる体制を整えている。

## 教員養成に係わる目標及び取組

---

### 医学部

#### ■教員養成の目標及び当該目標

わが国の少子高齢化、人口減少、経済などの社会情勢の変動と多様化にともない、人材養成についての一層の期待が高まっている。人材養成を担う教育に対する国民の期待に応え、高い能力と高潔な資質を備えた教員の養成が必要である。特に養護教諭は、児童・生徒および教職員の多様な健康問題に的確に対応するとともに、学校保健の専門家として校内調整、関係機関との連携を適切に行う能力が求められる。

本学科の養護教諭の養成においては、看護の専門教育を基礎として、医療人の素養をもち、養護教諭として必要な専門分野の知識・技能を修得させる。さらに学校保健の質の向上を図るための教育実践能力と研究能力を育成し、学校保健分野において中核となる人材の養成を目的とする。

#### ■教員の養成に係わる教育の質の向上に係る取組

特に無し

## 教員養成に係わる目標及び取組

---

### 医学系研究科

#### ■教員養成の目標及び当該目標

わが国の少子高齢化、人口減少、経済などの社会情勢の変動と多様化にともない、人材養成についての一層の期待が高まっている。人材養成を担う教育に対する国民の期待に応え、高い能力と高潔な資質を備えた教員の養成が必要である。特に養護教諭は、児童・生徒および教職員の多様な健康問題に的確に対応するとともに、学校保健の専門家として校内調整、関係機関との連携を適切に行う能力が求められる。

大学院の養護教諭の養成においては、看護の専門教育を追求し、養護教諭として必要な専門分野の知識・技能を深める。さらに学校保健の質の向上を図るための教育実践能力と研究能力を育成し、学校保健分野において中核となる人材の養成を目的とする。

#### ■教員の養成に係わる教育の質の向上に係る取組

特に無し

## 教員養成に係わる目標及び取組

---

### 工学部

#### ■教員養成の目標及び当該目標

<安全システム建設工学科> (認定課程：高一種免 (理科) )

(認定課程：高一種免 (工業) )

<信頼性情報システム工学科> (認定課程：高一種免 (情報) )

(認定課程：高一種免 (工業) )

<知能機械システム工学科> (認定課程：高一種免 (情報) )

(認定課程：高一種免 (工業) )

<材料創造工学科> (認定課程：高一種免 (理科) )

(認定課程：高一種免 (工業) )

#### 【1年次】

前期：大学入門ゼミ、教養教育科目等の受講により一般教養を身に付ける。また、情報に関する基礎を身につける。また、学部共通的・基礎的な専門科目を受講し、専門への心構えを身につける。

後期：教養教育科目等の受講により一般教養を身に付ける。また、学部共通的な専門科目及び基礎的な専門科目を受講し、専門への心構えを身につける。

#### 【2年次】

前期：教養教育科目等の受講により一般教養を身に付ける。また、引き続いて学部の専門科目を受講し、専門への心構えを身につける。教職の意義に関する科目、および教職の基礎路論に関する科目を履修し、教職の意義、教員の役割、食味内容、教育の理念・歴史、生徒の心理的発達および学習過程などについて理解する。

後期：教養教育科目等の受講により一般教養を身に付ける。また、前期に引き続き、学部の専門的な科目を受講し、今後の専門への心構え・基礎能力を身につける。教職の基礎路論に関する科目を履修し、教育に関する社会的・制度的事項などについて理解する。

#### 【3年次】

前期：高度な専門科目を受講し、応用力を身につける。教職の基礎路論に関する科目に加え、教育課程及び指導法に関する科目を履修し、生徒指導、教育相談、教科の指導法を理解する。

後期：教育課程及び指導法に関する科目を履修し、教育実習に必要な能力を身に付ける。

#### 【4年次】

前期：教育実習に関する科目を履修し、教育実習へ参加し実地での教職の経験し、教職免許取得に必要な能力を身に付ける。また、事前・事後の実践演習を行う。

後期：教育実習へ参加し実地での教職の経験した者へ、教育課程及び指導法に関する科目により教職全般に関する総括的理解および実践的能力を養う。

## 教員養成に係わる目標及び取組

---

### 工学研究科

#### ■教員養成の目標及び当該目標

<安全システム建設工学専攻>（認定課程：高専免（工業））

高度な専門科目を受講し、応用力を身につける。

特に、安全システム建設に関わる技術者として、社会基盤整備に関わる高度な専門知識と技術を習得し、それを実社会で活用できる。

<信頼性情報システム工学専攻>（認定課程：高専免（情報）（工業））

情報処理技術者として、または電子情報技術者として必要な高度の専門知識を見つけて、それを応用できる。

<知能機械システム工学専攻>（認定課程：高専免（工業））

高度な専門科目を受講し、応用力を身につける。

特に、知能機械システム工学分野の専門技術に関する知識と、その知識を工学的問題解決に発展的に応用できる。

<材料創造工学専攻>（認定課程：高専免（工業））

高度な専門科目を受講し、応用力を身につける。

特に、数学、物理学、化学等の高度な専門知識と技術を習得し、環境材料化学、機械材料科学、光・電子材料科学など専門分野を発展させ、新しい領域を積極果敢に切り開き、社会を豊かにしていくことができる。

## 教員養成に係わる目標及び取組

---

### 農学部

#### ■教員養成の目標及び当該目標

<農学部応用生物科学科>

(認定課程：中一免(理科) )

(認定課程：高一免(理科) )

(認定課程：高一免(農業) )

農学部応用生物科学科は、「豊かな人間性と幅広い視野，課題探求能力を備え，生物資源の生産と活用に関する科学と技術を総合的に理解し，生物科学を基盤とする産業界で幅広く活躍できる有為な人材」の養成を教育理念・目標に掲げている。本学部は，こうした教育理念・目標のもと，「農業」の教員を養成している。

## 教員養成に係わる目標及び取組

---

### 農学研究科

#### ■教員養成の目標及び当該目標

<生物資源生産学専攻>（認定課程：高専免（農業））

生物資源とそれを取り巻く環境への深い理解と探求を通して、生物資源の能力を最大限に活用した持続的生産活動の実現と共に人間の生存基盤である健全な環境の創造に資する専門的人材を養成する。

<生物資源利用学専攻>（認定課程：高専免（農業））

生産資源を有効かつ高度に利用し、健康で豊かな生活を持続的に営むために、生物の機能を分子レベルで理解することを通じ、有用な機能性分子・微生物・動植物・機能性食品などの開発に資する専門的人材を養成する。

<希少糖科学専攻>（認定課程：高専免（農業））

生物生産及び生物資源の開発と利用に関心を持ち、糖質バイオサイエンスを中心とした高度な専門的知識を有し、希少糖バイオテクノロジーの分野で新しいバイオ素材の開発に資する専門的人材を養成する。

## 教員養成に係わる目標及び取組

---

### 地域マネジメント研究科

#### ■教員養成の目標及び当該目標

地域活性化に貢献するリーダーを養成するため、一般的な MBA に地域の要素を加え、経営系と地域公共系を融合したカリキュラムを構築しており、地域の問題を的確に把握し解決する能力や、組織をマネジメントする能力などを身につけた人材の養成を目指している。

専修免許取得の資格を有する学生には、免許取得の意思確認を行い、希望者には履修指導を行うことにしている。

#### ■教員の養成に係わる教育の質の向上に係る取組

専任教員は、経営・会計領域のみならず、地域科学・行政分野の優れた研究業績や実務経験を有する者からなっており、教育プログラムの充実を図っている。